



## 弔辭

大杉照勝さんに謹んでお別れの言葉を申し上げます。このような場ですが、これまでと同じく「照ちゃん」と呼ばせて下さい。

七月十日にお会いし、お話をばかりなのに今も信じられません。お話をばかりなのに照ちゃんとは、近所で小さい頃から毎日かけずり回つて遊んでいました。私より二才上の照ちゃんは、下の子供達の面倒を良くみてくれた事、お互いの家を良く行き来した事を覚えています。思い出は尽きませんが、一人の休みが合うと米山登山もしましたね。

照ちゃんの健脚について行くのがやつとでした。友人三人で信州へ一泊旅行覚えていましたか?

秋の信濃路 紅葉と温泉夜は遅くまで酒を酌み交わし、語り合つた事が良い思い出となつてしましました。

災天下で鉢巻きをして汗をかき、真っ黒になつて境内の芝刈り、雪の日は朝早くから夜遅くまで除雪機を押す姿 愛用のバイクにまたがり、衣をひるがえし 檜家廻りをする姿 夕方六時の鐘つき どれももう見ることが出来なくなつてしましました。これまで仲良くしてくれて本当にありがとうございます。何度も唱えても足りないです。心からありがとうございましたがとうござん どうかゆつくりお休みください。

令和四年七月十九日

布施 昇



寺行  
門徒会発  
門 (025) 536-2532  
FAX (025) 536-2674  
✉ jofukoji@alpha.ocn.ne.jp

## 大切な人を忘れない

住職 井上陽雄

若いころから淨福寺の仕事に携わってくれた大杉照勝さんが、7月14日に77歳で亡くなられました。

彼は、毎日欠かさず18時になると梵鐘を打ちました。もうすでに2か月が経ちましたが、残された私と坊守はまだ彼のいない生活に慣れなっています。淨福寺にとつて大きな存在であつたとつくづく実感しています。

大杉さんは前立腺癌でしたが、病気をひた隠しにしながら法務を勤めていました。

もつといろいろ話してくれればよかつたと思うのですが、やれるところまでがんばろうと決めていたようです。お引き上げ報恩講も、今年が最後と思つて頑張つて勤めていたようです。いつさい愚痴も言わず、ただ、黙々と最後までやり遂げた姿は、とても立派だつたと思います。

## 『照勝兄への思い』

兄は中学校を卒業後、岩手県盛岡市の願教寺様にお世話になり、夜間高校に通い乍らお寺のお手伝いをして、京都の仏りした後に、京都の仏教学院を卒業後、願教寺さんに勤めさせて頂き、その後柿崎に帰り今に至りました。

亡くなる数日前には、門徒さん宅でお参りした後に、「もうすぐそちらに往きます。」とお仏壇に向かって言つていたそ

今でも盛岡に発つ時、駅で母が泣いて見送る姿が忘れられません。兄も大変淋しい思いをしたと思います。苦労した事です。大杉さんは主な経歴ですが、昭和36年柿崎中学校を卒業と同時に岩手県

大杉正信



大杉照勝さん 布施 昇さん  
昭和46年11月 米山登山

の願教寺様に修行ということで行かれました。そこで岩手県立盛岡第一高等学校の定時制に通いながら法務の手伝いをし、昭和45年に柿崎に帰つてこられ、淨福寺で法務員として従事しました。一緒に仕事をするようになつてからは、365日ほとんど休まずに50年間勤めてくれました。長い間ありがとうございました。心より感謝し、お念佛を申したいと思います。合掌

## 生かされている命に感謝

命を粗末にする事件が続発している。小・中学生が「いじめ」などで自殺をしている。さらに親が子を殺し、子が親を殺すという信じがたいことが起こっている。

生命科学の現場に50年近くいる者の立場から、命とは何か、命は何故尊いのかについて考えてみたい。

約38億年前、地球上に最初の生物が誕生した。そして、すべての生物の設計図は遺伝子によつて受け継がれてきた。その遺伝子を変化させることにより、数千万種類とも言われる生物が生まれ、人類が誕生した。私たちの遺伝子は、38億年間一度も途切れることなく、受け継がれてきた。この間に一度でも事故が起きたら、ヒトは存在しなかつたはずだ。38億年という気の遠くなるような時間をかけて、人は選び抜かれてこの世に誕生した。

ひとの身体は膨大な数の細胞から成り立つているのに、どうして争いもなく、見事に生きていられるのか。ヒトの場合、約300種類もの異なる細胞が器官や臓器をかたちづくっている。そして、細胞や臓器は助け合いながら個体を生かす働きをしている。これは自律神経の働きとして説明されているが、自律神経を動かしているものは全く分かつていない。

ヒトの身体では、細胞同士、臓器同士が見事に助け合っている。遺伝子にも利他的な働く

きをする情報が存在すると、私は思つてゐる。いま、生きる自信を失いかけている人に聞いていただきたい。宇宙は今から137億年くらい前に極微の一点が大爆発（ビッグバン）を起こして始まつたといわれている。

そして、ビッグバンの直後に生じた水素原子は現在、生き物の中に残つてゐる。ヒトの身体には、宇宙の進化の歴史が凝縮されている。どんな未熟な人も全宇宙を背負つて生きている。

命は自分だけのものではない。そういう意味で命は尊い。自分の命も、他人の命も、壊すのは簡単だが、一度壊したら二度とつくれない。命を粗末にすることは、大自然が137億年もかけて作り上げてきた最高傑作を無駄にすることになる。この世に生まれてきたこと自体、途方もない奇跡的な出来事なのだ。生きているだけでも有難く、素晴らしいことだから、自殺も他殺も絶対にしてはいけない。

この世に生かされていることに感謝しよう。

私たちは自分の力で生きているように思つてゐるが、自分の力だけで生きている人など地球上に一人もいない。太陽、水、空気、動植物、地球などや、目に見えない大自然の偉大な力（サムシング・グレート）のおかげで生かされているのである。遺伝子レベルで見ると、遺伝子は一人一人違う。それは誰もが、かけがえのない人間として生まれてきたという意味だ。他人と比較して生きるのではなく、自分だけの花を咲かせるために、オンラインとして生まれてきたのだ。

村上和雄先生（筑波大学名誉教授）

## 第25回淨福寺公開講座のご案内

今年の公開講座

のご講師は、玉置妙

憂さんです。三年

前に予定していた

のですが、新型コロ

ナウイルス感染拡

大のために延期となつておりました。今回、

ようやく来て頂く運びとなりました。

玉置さんは看護師をされていたのですが、

夫をガンで亡くされました。彼は入院せず

に、最後まで仕事を続けたのだそうです。玉

置さんは夫を見取りながら「人は枯れていく

ようになくなつていいのがいいのでは」とい

う考えを持つようになり、夫が亡くなつた

後、看護師に復職するのをやめて、僧侶にな

られました。

NHKのドキュメンタリー番組にも出演され

ました。いつかやがては死なねばならない私

たちの死や家族の看取りについて、きっと何か参

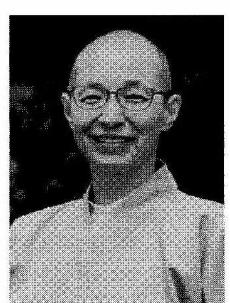
考になることをお話しして下さると思います。

講演後に、ライナーの演奏を聴いていただ

きます。音色がとても美しく、心が救われる

ような感じがすると思ひます。

是非、お越し下さい。

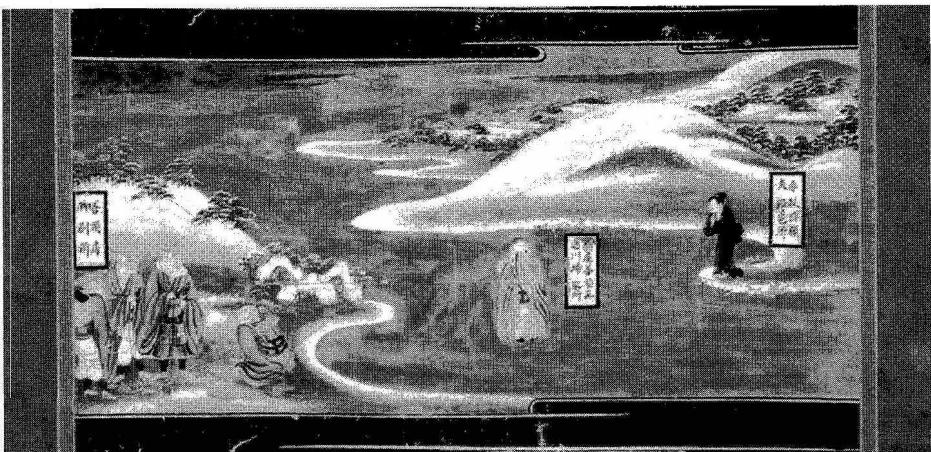


○日 時	10月2日(日)	記 14時～16時
○会 場	淨福寺本堂	
○テー マ	「生き方と逝き方を考える」	
○参加費 無料		

## 大杉さんからの 目に見える贈りもの

以前にお伝えましたが、大杉さんから大きな贈り物を頂くことになりました。淨福寺に伝わる、親鸞聖人と井上忠長とのやりとりの一場面の銅像です。

完成は、10月末になるとのことですので、先代



「師命に背ける者不敬の至り、仰せに任すべき。」と強く叱咤を受けている場面です。

親鸞聖人のお顔は、まだお若く、少し笑みを浮かべられています。それに比べ、蓮位坊は、叱咤おられるお顔となっています。

善順坊は源氏の武将らしく引き締まつたお顔です。そして、それを心配そうに見送っている妻のお顔は、今の坊守をモデルにして作つていただきました。製作途中で、老子製作所の元井さんより「ご住職の好きな人のお顔にすれば」と言われ、当初実家の母の若いころの写真を見せたのですが、よくよく考えてみたら妻とは血脉がありませんので、今の坊守に決めました。似ているかどうかは、皆さまで判断して下さい。

どんなものが出来上がるか、とても楽しみです。銘には、淨福寺をずっと支えて下さった大杉さんの三代前からのお名前を石に彫らせて頂きました。

また、銅像の台座の石ですが、最近石に興味がありますので、そこそこだわりました。その石は、群馬県でしか取れない「三波石」といつ緑色をしたとてもきれいな石です。所有されている方に今回の事情を説明したところ、安値に

は、聖人と一緒にどこまでもお伴をする決心をしたのですが、聖人は、善順坊に

「汝が志誠に神妙なりといえども、館へ帰り妻諸共に尊重して仏恩喜ぶべし。我が供奉致すよりは、宿に帰り、同行一人なりとも勧め、我が苦労を救わば、甚の悦びなり。」

と申されます。善順坊は強いて御供を願いでたのですが、蓮位坊が申すには

## 後任について

以前に皆様方にお知らせ致しましたが、大杉さんの後任として、まだ、正式に決定ではありませんが、来年の4月より私の従兄弟の早川昭真さんが来てくれることになりました。

よくよく思い起こせば、彼の父親（私の叔父）が、私に淨福寺へ養子に行くことを勧めてくれました。叔父は、私に「親鸞聖人と共に」と一言メッセージを伝えてくれました。これも不思議な縁だったということでしょうか。

また、淨福寺の縁起には、私の実父の実家の寺院の名前（姫路の本徳寺）が書かれてあります。ここは叔父

の生まれ育つた寺院でもあります。本当に不思議な縁ですね。

彼は、大杉さん

と同じようにはいきませんが、淨福寺の力になってくれると思います。



右が早川昭真さん

して下さいました。

この銅像は、淨福寺の歴史にとって、未来にずっと言い伝えられていく大変意義深いものになると思います。大杉さんには、重ねて心より感謝申し上げます。

令和4年6月12日(日)に報恩講前の清掃奉仕を実施しました。落合・下金原・下条・百木・下小野・上小野・高畠・初田・岩野・米山寺・芋島の28名のご門徒さんと常任委員11名の方が来て下さいました。いつも皆様から助けて頂き、心より感謝し御礼申し上げます。今まで3回来て頂いた方には、本願寺より取り寄せた記念品をお渡しました。

また、暮れのお掃除は12月4日(日)に6区のご門徒さんにお願ひ致します。何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申しあげます。



## 淨福寺清掃奉仕の御礼と 次回のお願い

毎年、有縁講に参加しておりましたが、昨年は、母の葬儀でキャンセルいたしました。今年は是非参加したいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。母の実家である青海の西連寺様やフォツリたいと計画しております。

どうぞお誘いあわせてご参加下さい。



## 第64回『有縁講』のご案内

集合場所		期日	記
宿泊場所	赤倉ホテル	10月15日	20,000円程度の予定
	(TEL) 0255-87-2001	17日の昼食	お念珠 着替え
申込み〆切	定員25名	洗面道具	保護証 常備薬
	17日柿崎地区公民館前10時出発	マスクなど	
	帰りは18日柿崎着16時半頃		

## 第10回 チャリティーコンサートin淨福寺 のご案内

今年も皆様に元気と希望をお届けしたいと思い、「チャリティーコンサート」を開催致します。会場ではマスクと消毒液を用意し、入場時に検温をさせていただきます。

どうぞご来場下さい

ますようご案内申し上げます。

入場無料ですが、募金箱を設置して「世界の子供たちにワクチンを 日本国委員会」に寄付をしたいと思いますので、皆様からのご協力をよろしくお願い致します。



日時	記
11月12日(土)	13時30分開場
	14時開演
会場	淨福寺本堂
出演者	クリア、横井沙弥・太田綾希、ピアス、他
曲目	冬が来る前に 冬物語 ヘッドライトテールライト 駅 カーペンターズメロディ他

今後共皆様からの本誌へのご要望・ご意見、そしてご投稿をお気軽に寄せ下さいます様お願い申し上げます。